

対人援助者が 困った時の対応法

～対応が困難な利用者や
家族への対応について～
(理論編)

★介護・障害の施設・事業所従事者対象研修★

講 師 **井上 果子氏**

(横浜国立大学名誉教授(博士)、臨床心理士・公認心理師、
こころの健康相談室『ふおーえむ』相談員)

日 時 第1回：**令和8年12月 4日**(金) (理論編)

第2回：**令和9年 1月25日**(月) (事例検討編)

※「事例検討編」は、理論編受講後、申込できます。

第3回：**令和9年 1月29日**(金) (事例検討編)

※「事例検討編」は、理論編受講後、申込できます。

時間はいずれも14：00～16：00

場 所 川崎市総合福祉センター 6階 (事例検討編は5階)
(エポックなかはら)

定 員 20名 (理論編) ※申込多数の場合抽選

10名 (事例検討編) ※申込多数の場合抽選

対 象 ・川崎市内の介護・障害の施設・事業所従事者
・井上先生の研修を初めて受講される方

内 容 対人援助者が困るときの対応法を学ぶ研修会 (裏面参照)

申込方法 研修申込フォームからお申込ください。

申込締切 **令和8年11月20日 (金) (理論編)**

令和9年 1月10日 (日) (事例検討編)

申込
フ
ォ
ー
ム



※申込時に受付完了のメールが届いているか必ず確認してください。
メールが届かない場合、受付ができていない可能性がありますのでご注意ください。

また、フォームからのお申込みが難しい場合は別途、
川崎市福祉人材バンク(Tel：739-8726)までご相談ください。

※フォーム申込者には締切後、抽選結果をメールにてご連絡いたします。

研修内容

介護や障害福祉の現場で働く私たちは、日々、利用者様やご家族と深く関わります。その中で、悩み、苦しみ、傷ついてしまうことはないでしょうか？サービスの利用者やその家族、上司や同僚との関わりの中で「困ったなあ」と思ったとき、解決策を学びたいと思うことはありませんか。心の仕組みがわかると、困り感は減ります。考え方や物の見方が少し変わると、相手のことが理解できたり、共感できることもあります。相手を変えることはできませんが、自分自身が変わること、付き合えるようになるのではないのでしょうか。

この研修では、管理職と現場職員それぞれの立場としてその対応方法を学び、問題の対応力UPを図ります。

《井上先生からメッセージ》

福祉人材バンクにおいて「心の相談室」を開設しています。

「心の相談室」では、相談に来られた方の職場で課題が発生し、その方が困ったり、悩んだりした時の「人間関係の变え方」や「組織・集団への介入法」のノウハウをお伝えしています。

どの相談者も、仕事で関わっている方々(利用者さん、職場の上司や部下、同僚等)から様々な「感情」を向けられています。「良い感情」を向けられることが多いです。しかし、時には「悪い感情」を向けられることもあります。向けられた感情や態度によって、自身は複雑な思い(怒り、傷つき、ひるみ)を抱きます。相手が向けてくる感情は、何らかの「サイン」です。このサインの意味を専門的に学ぶことは、何かと役立ちます。

「心の相談室」では「精神分析学」の視点から、理不尽な攻撃や不適切な感情を向けてくる「人々」の「心の状態」や「関わり方」を説明し「改善」に導く糸口をお伝えしています。

人間関係で困ったときは、ぜひ「心の相談室」にお越しください。

《会 場 案 内》

川崎市総合福祉センター
(エポックなかはら)

第1回 : 6階 研修室

第2・3回 : 5階
ボランティア
交流室

JR南武線 武蔵中原駅徒歩1分

《問 合 せ 先》

川崎市福祉人材バンク

電話 : 044-739-8726

メール : jinzai@cs-

kawasaki.or.jp

ホームページ

<https://kawasakijinzaibank.jp>

